

コード	504040202
記入日:	H22.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	中山利朗

## 事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	江袋教会堂保存修理復旧補助金
----------	----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	504	施策名称	伝統、文化の保存・継承と創造	項コード	5
基本事業コード	50404	基本事業名称	文化財の整備と活用	目コード	1
事務事業コード	5040402	事務事業名称	文化財保護の充実	細目コード	435
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町文化財保護条例 新上五島町文化財保護条例施行規則		

**計画(PLAN)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象: 誰、何を対象にしているのか		対象指標: 対象の大きさを表す指標					
(対象1)	江袋教会	(対象指標1)	1棟				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
平成19年に焼損した新上五島町指定文化財江袋教会を復元するために、調査・復旧工事を実施した。長崎県より、事業費の1/2を、新上五島町より1/4を補助する形で事業を実施した。	文化財保護条例をもとに補助金を支出した。	補修件数	1件	100%	補修件数1件÷補修すべき文化財件数1件	平成21年度	
		補修件数	1件	100%		平成21年度	
		① (達成率分析)	補助金申請と合わせて提出された事業計画に基づき、適切に実施された。				
		*****	*****	*****	*****	*****	
		② (達成率分析)					
目的: 何をしたいのか		成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
町指定文化財である江袋教会を火災前の状態に復元させ、町民共有の財産として、後世に残していきたい。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		補助件数	1件	100%	補助件数÷補助すべき件数	平成21年度	
		補助件数	1件	100%		平成21年度	
		① (達成率分析)	県と町と所有者の負担割合に基づいて、施行規則どおり補助金を支出した。				
*****	*****	*****	*****	*****			
		② (達成率分析)					

**実施(DO)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 20 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 件	1	1	1	1	
	②					
成果指標	① %	100	100	48.2	100	100
	②					
総事業費C (A+B)	千円	44,550	44,550	21,515	23,035	23,035
直接事業費 A	千円	43,150	43,150	20,815	22,335	22,335
人件費 B	千円	1,400	1,400	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.2	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	44,550	44,550	21,515	23,035	23,035

コード 504040202

**評価(CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 町の貴重な文化財として、後世に伝えていく必要があるため妥当である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 文化財の保護活動は、時代の変化に関係なく、実施する必要がある。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 江袋教会は町指定文化財に指定されている教会であるので、適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 焼損前の状態に復元され、目的は達成された。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 非常に特殊な工事だったが、事業計画どおり行われたので、余地はなかった。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 貴重な文化財を復元することができなかった。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 文化財の補修に関して、専門的な知識を持った業者によって、設計・監理が行われているので、削減できなかった。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 必要最低限の人数で事務に当たったので、これ以上の削減できなかった。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 所有者による負担は、条例に基づき、適切に行われた。

**改善(ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点  今後も文化財保護条例に基づき、適切に処理することが大切である。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策  目的は達成されているので、課題や改善策はない。
2次評価	計画どおりの事業に対し補助が完了した。今後も関係機関と連携しながら、文化財として維持・管理に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。